



議会だより

『輝く絆 咲き誇る青春』



～最強の仲間とこの瞬間をつっぱしれ～

9月10日 関川中学校運動会

9月定例会 **平成22年度決算審査特別委員会** 2～4ページ

村議会 **新しい構成メンバー** 5ページ

一般質問 **4名登壇** ～村政をただす～ 6～9ページ

村民の声 「私と気象」 10ページ

関川村議会定例会

平成22年度 決算審査特別委員会

平成22年度 健全化判断比率

	早期健全化 基準 (%)	平成22年度 (%)	備 考
実質赤字比率	15.0	—	該当なし
連結実質赤字比率	20.0	—	該当なし
実質公債費比率	25.0	14.4	基準以内
将来負担比率	350.0	54.8	基準以内

平成22年度 資金不足比率

会 計 名	比 率	備 考
水道事業会計	—	該当なし
公共下水道事業特別会計	—	該当なし
農業集落排水事業特別会計	—	該当なし
簡易水道特別会計	—	該当なし
村有温泉特別会計	—	該当なし
宅地等造成特別会計	—	該当なし

【報 告】

平成22年度健全化判断比率及び資金不足比率の報告がありました。是正改善を要する事項や特に指摘すべき事項はありませんでした。

平成23年度第6回定例会が9月7日～9月15日までの9日間の会期で開かれました。初日は4名の議員からの一般質問がありその後、監査委員の意見書による健全化判断比率及び資金不足比率についての報告の後、議案の上程、質疑を重ね各委員会からの審査報告を受け全議案が原案どおり可決されました。

正 算 一 般 会 計
補 予 3,780万円追加

● 総務費

大したもん蛇の補助金として270万円を計上。

11月に福島県会津若松市で行われるフェスティバルに参加するための費用等。

一般管理他、財政会計管理に関するシステムへの委託料などに300万円計上、村有林伐採委託料に174万円計上。

● 民生費

老人福祉総務費のシステム導入委託料他、備品の要援護者GISシステム用iPadの購入費として500万円計上。



iPad

● 農林水産業費

農業振興費総務費に新潟県農林水産業総合振興事業補助金109万円、畜産振興費には、放射能被害による県産稲わら緊急確保対策事業助成金15万円計上。農業農村整備事業費、関川村農業生産基盤整備等事業補助金に50万円、戦略作物基盤整備補助金182万円計上。

● 商工労働費

施設管理費に観光施設の修繕費、委託料に396万円計上。施設整備費に荒沢橋基礎撤去・スキー場水路改修に工事請負費715万円計上。

● 災害復旧費

農地農業用施設災害復旧費、農業生産基盤整備等事業補助金（豪雨災害関連）240万円計上。

決算審査特別委員会 常任委員会

Q&A

むらづくり 総合推進事業

Q、むらづくり総合推進事業補助金（キラリと光る地域活性化事業）の交付は、事業・行事に対する補助金で終わらないようにしてほしい。

A、補助した団体・組織が継続して育つことで、地域の活性化につなげたいと思います。

管理公社清算金

Q、観光施設清算金は管理公社の収入ですが、指定管理者が民間の場合、利益は管理者で使ってよいとなっているが…。

A、管理公社は村の第3セクターでありますので返還してもらっています。

放課後子ども教室

Q、放課後子ども教室推進事業県補助金は、事業を立ち上げた時に交付される補助金と聞いているが、補助金の交付がなくなっても事業は継続されるのか。

A、放課後子ども教室は好評であり、県の補助金が交付されなくても、事業は継続したいと思えます。



村有地立木伐採

Q、村有地立木伐採委託料の伐採が必要な場所は…。

A、湯沢の観音公園、下関の霊園、小見のふれあい自然の家（旧・川北小学校）、安角の旧・安角小学校跡地の4カ所で、地域の方と相談しながら伐採を行います。



放課後子ども教室

橋りよう改修

Q、橋の改修が必要などころはあるのか。

A、橋りよう点検を行い、長寿命を目指していますが、昭和42年の水害後に建設されたものがほとんどです。今後改修が必要なものはあります。改修には多額の建設費用がかかるため、今後も課題になると思います。

地域消費 関連補助金

Q、地域消費関連の補助はどのようなものがあるか。

A、「あいさい市」利用組合へ出荷手数料の軽減のため売り上げの5%、生活改善推進研究会へ味噌製造支援、農協へ野菜などの出荷手数料を補助しています。

関川村議会 新たな構成でスタート

平成23年8月1日に臨時会（初議会）を開催し議会の構成を決定いたしました。議長に高橋八男議員、副議長に渡辺健作議員が選ばれ、各委員会の構成員を決定いたしました。



第17代 議長
高橋八男

ごあいさつ

この度、関川村議会任期満了に依る改選がありました。

初心忘れることなく、キラリと光る村政発展のために頑張っていきたいと思えます。

8月1日の臨時議会で伝統と歴史ある関川村議会議長に再選いただき、身に余る光栄と同時に職責の重さに身の引き締まる思いであります。

村では少子高齢化、健康福祉、若い人の流出など、いろいろと山積してあります。一日でも早く解決できるような皆様方の意見を理解し、議会と理事者と力をあわせ村政発展のために精一杯頑張っていきたいと思えます。

最後に村民皆様のご支援、ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

総務厚生常任委員会 6名

- 所管事務
- 村財政に関するもの
 - 文教・社会文教に関するもの
 - 他の委員会の所管に属さないもの



平田ゆかり 菅原 修 伝 信男
副委員長 委員長
須貝謙一 津野 庄衛 たかはし 八男

産業建設常任委員会 6名

- 所管事務
- 農林水産・商工振興・観光に関するもの
 - 土木建設・簡易水道・下水道に関するもの
 - 公営企業に関するもの



近 良平 古川 芳房 佐藤 友之
副委員長 委員長
平田 広 渡辺 秀雄 渡辺 健作

議会運営委員会 5名

- 議会の運営や議会に関するもの

委員長 副委員長
伝 信男 古川 芳房 津野 庄衛
渡辺 健作 渡辺 秀雄

広報対策特別委員会 6名

- 議会の活動などを広く村民の皆さんへお知らせすること

委員長 副委員長
平田ゆかり 菅原 修 津野 庄衛
渡辺 秀雄 佐藤 友之 古川 芳房

質 問



渡辺 秀雄 議員

緊急時、避難場所に駐車できない理由は 地域防災計画での想定より車での避難が多かった

議員 平成16年7

月の豪雨で、荒川流域が危険水位に達し避難指示があった際、現在の関川中学校へ避難した住民がグラウンドに駐車できないと係員に断られ、お年寄りを中学校へ避難させてから車を自宅の車庫に戻しに行ったと聞いたが、緊急時には何か、村長に伺う。

村長 第一に自動車での避難が多すぎて地域防災計画でも想定していませんでした。

第二に当時の関谷中学校は特別室の工事中でグラウ

ンドに囲いがしており、対策本部からの要請で一部開放していたが、全面的に駐車できる状況ではありませんでした。

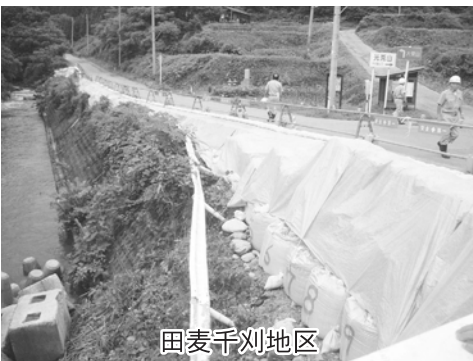
第三にグラウンドにも上関の裏山から水が流れ込み、上野地区でも床下浸水がありました。

議員 最近では記録的な豪雨が非常に多く、特に水害が頻繁に発生している。今後避難指示が出た場合、駐車できるのか、できないのか。

村長 今後、支障のない状態であれば、緊急避難時にグラウンドを駐車場にすることもやぶさかではありません。

もう一点、村では、平成16年の豪雨を契機に村内54集落に自主防災組織の策定をお願いして、すでに申請のあった24集落で設立されています。

自主防災組織で各集落ごとの訓練の結果、何が何でも学校ということではなく、新しい避難場所やルートが見つかってきています。また村民の車全部を短時間に指定の避難場所に入れることは不可能で、渋滞した場合は避難が遅れ、2次災害につながる危険性もあります。各集落で、それぞれに適した避難場所について話し合っけて貰いたいと思っています。



田麦千刈地区

プレミアム商品券の第2弾発売予定は 財政のメドがつけば追加発行したい

議員 バブル崩壊後の景気は低迷が続く兆しが見えない状況です。村は景気の回復、活性化を図るために様々な施策（ふるさと関川帰省事業・キラリと光る地域活性化事業等）を実施しているところですが、今回のプレミアム商品券5千万円については、7月15日発売で11日間で完売と好調な売れ行きであったと聞いています。この5千万円は全額村の商店、旅館、企業に入るので地域活性化に貢献して行きます。

そこでプレミアム商品券の第2弾の発売予定は、

村長 低迷する村内の景気回復に役立てるためにそれぞれの分野での対策を実施してきました。プレミアム商品券については、2年ぶりの販売だったために発売からわずかの期間で完売となり、好評をいただいております。さらに景気対策が必要であり、追加発行すべきと私も考えておりますが、本年6月と7月の豪雨によりまして災害復旧費に7200万円を充当しています。そのために今年度の財政運営が一挙に厳しくなります。プレミアム商品券の追加発行をためらっているところですが、財政的に耐えられるような状況になれば早く追加の発行をしたいと考えています。

追加発行をためらっているところですが、財政的に耐えられるような状況になれば早く追加の発行をしたいと考えています。

般



津野 庄衛 議員

関川小学校グラウンドの砂飛散防止対策を

村でも積極的利用と防じん処理剤を検討している

議員 関川小学校のグラウンドは、雨上がりでも使用できる特殊な砂を使用しているとのことだが、今春以来の

土をしめるためにも地域の人たちにも大いに利用してもらいたいと思います。

議員 グラウンドは基準の倍くらいの面積があるので栽培園を作ればある程度の砂の飛散が防げると思っています。

ダシの風で砂が飛散して近くの住宅に迷惑をかけた。砂の飛散対策としてフィールドに芝を張るとか、以前のよ

議員 若者の定住対策として「メゾン下関」が建設された一方、空き家を紹介して人口流出の方策として利用してはどうか。また、過疎対策として独身男女の出会いの場として「婚活ツアー」の実施はできないか。

村長 具体的な提案がありました。が、さらに工夫してまいります。

若者の定住対策及び婚活対策について 空き家の紹介は慎重に、婚活は実施していない

うに防じん用の杉グネ(生け垣)を作る計画はないか。

議員 現状では対策を検討しているところ

村長 現状では対策を検討しているところ

です。グラウンド使用も十分に無いことから、

村長 8年前空き家の実態調査をし台帳に登録して紹介してきたところですが、地域との交流等の面で難しいので大きく取り上げていません。嫁婿対策については以前

議員 閉校舎が現在活用されていないものもある。今後の活用と将来的構想は、維持管理等を含め

村の行事の場として使用してグラウンドをしめるのも一つの対策と

議員 閉校舎が現在活用されていないものもある。今後の活用と将来的構想は、維持管理等を含め

村長 現在9つの廃校があり地域の産業への利用、体力づくりのセ

考えます。

議員 閉校舎が現在活用されていないものもある。今後の活用と将来的構想は、維持管理等を含め

村長 現在9つの廃校があり地域の産業への利用、体力づくりのセ

です。現段階では防じん処理剤の使用を検討しているところです。

議員 閉校舎が現在活用されていないものもある。今後の活用と将来的構想は、維持管理等を含め

村長 現在9つの廃校があり地域の産業への利用、体力づくりのセ

お詫びに回ったところ

議員 閉校舎が現在活用されていないものもある。今後の活用と将来的構想は、維持管理等を含め

村長 現在9つの廃校があり地域の産業への利用、体力づくりのセ

です。現段階では防じん処理剤の使用を検討しているところです。

議員 閉校舎が現在活用されていないものもある。今後の活用と将来的構想は、維持管理等を含め

村長 現在9つの廃校があり地域の産業への利用、体力づくりのセ

です。現段階では防じん処理剤の使用を検討しているところです。

議員 閉校舎が現在活用されていないものもある。今後の活用と将来的構想は、維持管理等を含め

村長 現在9つの廃校があり地域の産業への利用、体力づくりのセ

山菜を生かした地域おこし 山菜の栽培、販売に支援する

議員 村の森林資源の一つである山菜を活用した地域おこしに取り組んでは、

反歩、上関地区で1町5反の耕作放棄地を解消しました。猿害に強い山菜としてワラビを奨励して優良品種の株分けをもらうなど、定着を進めています。ワラビについては村から単独で助成金を交付しており、今後とも山菜の栽培、販売等を支援したいと思っております。

国では耕作放棄地再生利用のため交付金制度を創設した。村も助成して放棄地の再生を図り換金作物として山菜栽培を推奨してはい

国では耕作放棄地再生利用のため交付金制度を創設した。村も助成して放棄地の再生を図り換金作物として山菜栽培を推奨してはい

かがか。

かがか。

村長 放棄地は畑で66町歩あります。国の補助事業で女川地区で6

村長 放棄地は畑で66町歩あります。国の補助事業で女川地区で6

ンターやふれあい自然の家として地域の人たちに利用されているのが現状で、老朽化して維持できない校舎については、取り壊しも考えています。

ンターやふれあい自然の家として地域の人たちに利用されているのが現状で、老朽化して維持できない校舎については、取り壊しも考えています。

最近では、山岳図書館や民具等の保管場所として利用したいという声もあります。今後詰めて進めたいと思います。

最近では、山岳図書館や民具等の保管場所として利用したいという声もあります。今後詰めて進めたいと思います。

教育長 旧金丸小グラウンドは育苗ハウスの用地として、旧沼小は綱引き大会の練習場として、旧安角小はマラソン大会、郷民運動会、

教育長 旧金丸小グラウンドは育苗ハウスの用地として、旧沼小は綱引き大会の練習場として、旧安角小はマラソン大会、郷民運動会、

00万円を計上しています。

00万円を計上しています。

雪蟹まつり等、旧土沢小は郷民運動会、霧出まつり、また、村内の業者による屋上緑化シートの製造する場所として利用してもらっています。旧川北小は放課後子ども教室、コミュニティ川北に利用してもらっています。旧女川小は、地域循環型プロジェクト(消費者との交流事業)や地域の方の体力づくりなどで利用してもらっています。維持管理として全体で約5

雪蟹まつり等、旧土沢小は郷民運動会、霧出まつり、また、村内の業者による屋上緑化シートの製造する場所として利用してもらっています。旧川北小は放課後子ども教室、コミュニティ川北に利用してもらっています。旧女川小は、地域循環型プロジェクト(消費者との交流事業)や地域の方の体力づくりなどで利用してもらっています。維持管理として全体で約5

00万円を計上しています。

00万円を計上しています。

00万円を計上しています。

00万円を計上しています。

質 問



渡辺 健作 議員

自然環境管理公社の損益改善状況は 公社の会計上把握できる仕組みになっていない

議員 自然環境管理公社について伺う。

①現場作業員を含めた職員の数。

②平成18年9月に指定管理者に指定され、今年の4月に再指定されたが、指定管理者に指定されて以降の損益の状況は。

③専務理事を公募しているが、職務は。

村長 ①現在の総数は40人で、そのうち施設管理に当たる作業員は、臨時雇用者とシルバ1人材からの派遣を含めて36人となっています。

②確かなことは、この会計上、把握できる仕組みには

なっていない。企業の会計や、普通の団体の会計とも違い、利益がどの程度出てくるというものではないので、見えにくい状況になっています。いくつかの部門に分かれており、例えば「ゆくむ」などは、ある時点で村に環流できる面もあるとか、そのようなことでしか判断できない、そういう性質の会計であることを理解してもらいたいと思います。

③自然環境管理公社は昭和56年に村が2000万円出資して設立し、趣旨として、増える一方の村の観光施設を村の職員だけで管理するには経費がかかりすぎる、などから別法人をつくりたいと思います。また、行政と民間の谷間の仕事を開拓しながら村民の雇用を増やすことも目的の一つでした。しかしながら、初期の目的

がまだ十分に達成されてないと考え、組織管理と業務を一層効率的に行ってもらいたいことから、専務理事の公募をしているところであります。専務理事の職務は、実務のトップとして公社の経営に携わってもらうことです。現在は、農林観光課長が兼務しています。

議員 公社には村より、公益会計に受諾事業支援会計として、1億円以上入っている。多くの観光施設管理の経費は別として、「ゆくむ」と「レストハウス大石」については、利益が見込める事業と考える。

「ゆくむ」については、約3カ月の休館期間があったが、入館者収入約4000万円を村に納入したほかに、収益会計で、14万円の利益が出ている。一方、「レストハウス大石」については、約240万円のマイナスで

ある。今後の取り組みは、「ゆくむ」従業員接客態度が以前と比べると非常に良くなった、さらなる向上を期待したい。

村長 「レストハウス大石」については、入れ込み数の減から危惧しているが、まだ具体的に将来方向は出していない。ある時点でいろいろ変えていかなければならないと考えています。「ゆくむ」の接客態度については、アンケートなどを見ても大変良いというのがほとんどでした。工事で休館中に研修会を実施した結果が効果としてあらわれていると考えています。公社の運営には今後とも緊張感を持って対処していく考えです。

「ゆくむ」については、約3カ月の休館期間があったが、入館者収入約4000万円を村に納入したほかに、収益会計で、14万円の利益が出ている。一方、「レストハウス大石」については、約240万円のマイナスで

ある。今後の取り組みは、「ゆくむ」従業員接客態度が以前と比べると非常に良くなった、さらなる向上を期待したい。



ゆくむ



レストハウス大石

般



佐藤 友之
議員

自立へ向けての財政問題への取り組みは 職員皆で痛みを分かち合って自立していく取り組みを

議員 自立を掲げ、

政策に取り組み、執行部に3点伺う。

①歳入アップへの取り組みについて
②歳出削減への取り組みについて
(結果ベース、成果ベースで)

③地方分権化推進時代の中、個別に営業力のある組織体制(課)づくりを

村長 ①村づくり総括推進本部を設置し遊休村有地の売り払いの検討
②村長、常勤特別職、非常勤特別職、一般職員の給与、報酬の削減を実施し、ある意味では限界ではないかと考えています。
③新しい課を特別

つくることは考えておりません。それから、今ほど議員民間の営業力についてご指摘頂きました。これを行政の中で言えば政策立案能力でないかと考えております。政策能力を向上させる為一層職員研修を講じていかなければならない、このように今考えているところです。

副村長

村長の補足説明として：村の仕事はデパート

みたいなものでどの仕事も

ではなく村民に対してはすべての法律を中心とした仕事はしなければなりませんし、また住民にとりましても役場を選ぶということも

できないので、一緒に考えて考えながら行政を進めていかなければなりませんしまた、そうしているつもりです。

平成15年3月に自立の表明を村長がいたしました以来、村づくり総括推進本部をつくりまして、村はどういうふうになればいいのか、そこに向かっただろうかという考え方で取り組んでいけばいかとういう、その政治の基本的なことについて、村づくり基本条例並びにそれに類することなど、また住民の協力が大いに得られるように、あるいは自主的な活動ができるように平成16年8月1日施行の村づくり基本条例を県内では一番早く施行したわけです。

行財政関係につきましても、村の税収は毎年大体13%弱くらいに占めるウエートしかありませんのであと40%は地方交付税です。したがって村が幾らもがいてもどうしようもない状況です。人件費では、職員数は最盛期に比べて30人減らしたわけですし、職員が減るわけですから、それに合わせて仕事を減らしていくわけにはいかないので、職員の一人一人の能力を高めるための対策も幾つかしています。

- ・ 積極的な研修の参加
 - ・ 月一回の勉強会
 - ・ 班長以上の拡大課長会議
 - ・ 年一回の職員レポート
- そういったことを通して少ない人員で村民の皆さんの期待にこたえられるように、少しでも近づける仕事をしたいけるように、一人一人の能力を高める取り組みもしてまいりました。
- 職員の数も、今の仕事から見ると、現在のところ減らすのは限界かなというふうに思っています。職員を減らすことによって各集

落、地域の活力が衰えるとか、さまざまな障害があるということ、人件費は減らしながらも職員数は確保していきたい、そういう流れも少しずつ出てきておりますので、関川村もそういう方向に行くのではないかと考えています。

議員 私は今以上にもっともつと真剣に掘り下げて、今の行政運営を見直して、簡素化できる部分はあるかと思う。職員の仕事の幅を広げたとき、その中で新しいこういう取り組みをしたいとなれば、職員が必要となる。今後の課題としても一度研究をされていただければと思う。

村民の声

「私と気象」

佐藤 幸一 さん
(蔵田島)



子供の頃、屋根の上に寝そべり空に浮かんでいる雲の流れる速さ、形や色、大きさ等々を眺めているのが好きで、熱中するあまり何度となく屋根から落ちそうになった事が思い出されません。また、どうして雲から雨が降ってくるのかが不思議で仕方がなかった記憶があります。さてさて、時が巡って現在とは言うと、職業柄、水に縁のある職場で、子供の頃好きだった雲にも関与するような仕事環境にあります。でも、今は子供の頃のような純粹な気持ちで空を見上げる事は無く、「擾乱を誘発するような雲に発達しないように」と祈るような気持ちで雲を見て

来ている事です。昭和から平成に時代が移り、バブル景気から平成不況に推移し、暫らくした頃から異常気象の文字がテレビや新聞等に多く登場するようになった気がします。

自分の周りでも平成10年頃から大雨、大雪、気温、地震等々に平年を著しく逸脱した気象現象が顕著に現われてきたように思えます。気温に関する未来予想では、最悪の場合100年後に約5℃の気温上昇が予測され、1℃上昇すると緯度で100km南下し、高度で100m違う事から、現在の新潟は九州の位置に属することとなり、ミカンが収穫されるような温暖な土地になるが、代わりにコシヒカリの旨味が損なわれてしまう環境になるかも知れません。

感じている事だと思えます。閔川村でも平成16年7月と平成23年6月に、昭和42年の羽越水害を髣髴させるような大雨による大出水に襲われています。地震に関しても、まだ記憶に新しい東日本大震災があり、近傍でも中越地震等による強い揺れを感じています。また最近の傾向として、広範囲での地震多発が顕著化しているように思えてなりません。

この先、地球温暖化が原因と言われている異常気象の頻度が増えてくると思いますが、これからは異常気象と捉えるのではなく普通

に起こる当り前の気象現象と認識し、早い段階からの情報収集や防災準備を心掛けていく事が肝要であると思えます。

子供の頃、思っていた雲の世界とは様子が大分違ってきましたが、神秘的な魅力は今も昔も同じなので、これからも末長くお付き合いさせて頂こうかと思っております。

8月に新しい議会構成となり、私たち6名が議会広報の編集を担当することになりました。新委員で初めて作成したものです。「親しみやすい議会だより」を目指して研鑽を重ねてまいりますので、よろしくお願

誘発するよう雲に発達しないように」と祈るような気持ちで雲を見て

日から思うのが、私たちを取巻く気象環境に変化を感じさせるような現象が、数多く見られるようになって

合せて台風の襲来も九州並みになるのではと危惧される所です。雨に関しては、豪雨の回数が増加しゲリラ豪雨と言われる様な猛烈な雨の頻度が多くな

てきている事は、みなさん

編集後記

8月に新しい議会構成となり、私たち6名が議会広報の編集を担当することになりました。新委員で初めて作成したものです。「親しみやすい議会だより」を目指して研鑽を重ねてまいりますので、よろしくお願

編集委員

- 委員長 平田 ゆかり
- 副委員長 菅原 修
- 委員 津野 庄衛
- 委員 渡辺 秀雄
- 委員 佐藤 友之
- 委員 古川 芳房

